

Kochi

Keikyo

1

2024
January

Vol.501



桂浜の日の出

01 新年ご挨拶

高知県経営者協会 会長 森下勝彦

一般社団法人日本経済団体連合会 会長 十倉雅和氏

03 高知県経営者協会 理事会・会員懇話会を開催

04 会員懇話会 講演要旨

06 青年経営者部会

08 労務管理者協議会

10 受託事業

11 2024 新年賀詞交換

21 経協だより・事務所移転のお知らせ

22 公開セミナーのご案内



新年ご挨拶

高知県経営者協会

会長 森下 勝彦

あけましておめでとうございます。

会員の皆さまにおかれましては、新春をお健やかに迎えの事とお慶び申し上げます。また、旧年中は当協会の事業運営にご支援、ご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、長かった新型コロナウイルス感染症の5類移行を受けて、コロナ禍で大きなダメージを受けた県観光は、NHK朝ドラ「らんまん」の効果もあり、海外・県外から多くの観光客に県内は活気づきました。また、「よさこい祭り」も通常開催となり、高知の暑い夏が戻ってきたと嬉しく思ったことでした。

スポーツ界では、野球の侍ジャパンが14年ぶりに世界一となり、大谷フィーバーに湧きました。国内では、阪神タイガースの「あれ(A.R.E)」がリーグ優勝さらに日本一となり、タイガースファンには溜飲が下がる思いをしたのではないかと思います。サッカーファンの私としては、高知ユナイテッドFCが天皇杯2、3回戦で、J1リーグのG大阪、横浜FCを相次いで撃破した活躍に心躍りました。

明るい話題も多かった1年でありましたが、日本経済は、原材料の高騰により様々な商品・製品の物価上昇が続いており、国民生活にも大きな影響

がでています。企業はこういった状況を踏まえ社員の生計費への配慮や人材確保といった側面から賃上げを実施し、昨年は30年ぶりという高水準となりました。

しかし、一方で原材料の高騰や賃上げ原資の適正な価格転嫁ができていない企業も存在しており、高知県では適正な価格転嫁を推進するパートナーシップ構築宣言(こうち共同宣言)への理解促進を図っているところです。当協会も、こうち共同宣言の取り組みに協力してまいりたいと考えております。

私たちは、急速な労働力人口の減少や、DX、GXなど産業構造変革への対応と生産性の向上、賃上げ、働き方改革など様々な経営課題に、引き続き取り組まなければなりません。協会は会員の緊密なる連携を通じて、諸課題を共に克服し企業の持続的成長に努めてまいりたいと考えております。

結びになりますが、今年の干支は「辰」。活力旺盛で大きく成長し形がととのう年だともいわれております。会員企業の皆さまがご健勝で、さらに飛躍の年となることをご祈念申し上げます。

本年も何卒よろしく願いいたします。



官民連携でデフレから 完全脱却し、「成長と分配の 好循環」を実現する

— 経団連会長新年メッセージ —

一般社団法人 日本経済団体連合会

会長 十倉 雅和 氏

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

コロナ禍を乗り越えた今、日本経済は、企業の強い設備投資マインド、継続的な賃金引上げのモメンタム、消費の拡大などに支えられ、長きにわたる低迷から脱する明るい上向きの力が生じている。2024年は官民が連携して経済のダイナミズムを取り戻し、30年来のデフレからの完全脱却を実現する歴史的な転換の年としたい。

カギとなるのは、生態系の崩壊や格差の拡大・固定化・再生産といった、我々が直面する深刻で複雑な社会課題の解決を通じた、持続的な経済成長の実現である。これまで経団連会長として、「サステイナブルな資本主義」の実践を目指し、企業自らが「成長と分配の好循環」をけん引すべく取り組んできた。引き続き、グリーントランスフォーメーション（GX）、デジタルトランスフォーメーション（DX）、スタートアップ振興等を柱に、イノベーション創出、生産性向上、産業競争力強化を通じた力強い成長の実現を目指す。

分配の観点からは格差問題の解決に向けて、多くの人々が豊かさを実感し希望がかなえられるよう「分厚い中間層」の形成に取り組む。そのためには、「マクロ経済政策」「社会保障・税制」「労働

政策」の3つの政策分野について、官民連携の下、全体感をもって一体的に取り組むことが肝要である。とりわけ現役世代の将来不安を払拭するために、公平・公正で安心な全世代型社会保障・税制の構築が急務である。構造的な賃金引上げの実現に向けて、30年ぶりとなる高水準を記録した昨年以上の熱量と決意で取り組んでいく。

世界に目を転じれば、国際情勢がますます混迷を深める中、わが国が果たすべき役割は大きい。経団連は民間経済外交を推進し、自由で開かれた国際経済秩序の再構築を働きかける。開幕まで500日を切った2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）は、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに掲げている。コロナ禍を経験し、世界各地で紛争・戦争が続く今こそ、生命の尊さと連携の大切さをわが国から世界に発信すべく尽力してまいりたい。

今日ほど官と民の連携が求められる時代はない。経団連は政府と力を合わせて成長と分配の好循環の実現に取り組んでいく。会員の皆様のご理解と一層のご支援をお願い申し上げます。

第144回理事会を開催

高知県経営者協会第144回理事会を11月28日三翠園において開催した。

理事会冒頭の会長挨拶では、新型コロナウイルスが5月に5類感染症に移行され経済社会活動もコロナ感染前の状態を取り戻しつつあるが、物価上昇が続ぎ、近年にない賃金引上げに踏み切った企業がある一方で、原材料費や人件費を適正に価格転嫁できず、賃上げが困難な企業も存在している。

また、少子化に加えて、若者の県外流出に歯止めがかからず、人手不足が深刻化するなど企業経営には様々な課題が山積しているが、会員の皆さまと課題を共有し、企業活動を通じ豊かで活力ある地域社会の実現に努めていきたいと述べた。

会長挨拶の後、会長が議長となり理事会を進行し、次のとおり異議なく承認された。

- ①高知県経営者協会上期の事業報告・収支報告を承認された。
- ②事務局（事務所）の移転について、受託事業の



縮小等に伴い収支が大変厳しい状況であることから、事務局を移転することで経費削減を図るため、新事務所の「高知ダイヤビル」（高知会館西隣）（高知市本町5-6-39）に、1月19日に移転することを報告し承認された。

その他報告事項として、①高知地方最低賃金審議会最終審議結果について ②職員の労働条件の変更について説明、賃金体系の見直し、就業規則の改正を進めることを報告した。

令和5年度 会員懇話会を開催

同日令和5年度会員懇話会を開催した。特別講演（高知県共催「令和5年度高知県働き方改革トップセミナー」）として、グレートジャーニー合同会社代表 安川新一郎氏より「機械知能（AI）の時代の人間知性（HI）のあり方とこれからの働き方」～孫正義社長のビジョナリー思考を通して考える～と題してご講演をいただいた。

その後、会員交流を図るため会員懇親会を開催した。

会長の挨拶・乾杯の音頭で開宴し、懇親会ではなごやかな雰囲気でも話もはずんだ。中締めは十河副会長が一本締めで会員企業の発展を祈念しお開きとなった。



機械知能 (AI) の時代の人間知性 (HI) のあり方と これからの働き方

東京大学未来ビジョン研究センター特任研究員 グレートジャーニー合同会社代表 安川 新一郎 氏

私は、1999年から2013年まで14年間ソフトバンクで社長室長として、孫正義社長と非常に近いところで仕事をさせてもらい、多くの薫陶・影響を受けた。孫社長の言葉で一番印象に残っているのが「迷ったときこそ遠くを見よ」である。2010年ソフトバンク30周年の節目の年に、孫社長から次の30年、2040年に世界はどうなっていて、ソフトバンクはどうあるべきかビジョンを描くよう指示を受けた。全社をあげて1年間かけて検討し、事務局として取りまとめをした。当時は正直そんな先のことは来てみないとわからないという感覚であったが、検討していく中で未来は考えれば見通せると思うようになった。例えば少子化高齢化の問題は、日本の人口再生産には出生数は2.07人必要といわれているのに、1970年代には出生数を下回っており復活していないことから、50年前から少子化・人手不足になることは予想できたはず、テクノロジーに関していえば、AIの進化であるとか、半導体の処理速度は数十年単位で見通すことができる。見通せるのだが、我々が見ていなかっただけである。

これらは俯瞰的マクロな話ではあるが、これからの20年は非常に大きな変化の時期になると思っ

ている。不安になったときはなるべく遠くを見通してこれから何が起きるのか、大きなトレンドを追うということが大事になる。未来のビジョンを考えるときに、孫社長は「正しい登る山を見つけたら半分仕事は終わったようなもの」、「成功しない人は登る山は見つけられず麓でうろろうろしている」と言っていた。

私は2045年が非常に重要な年になると繰り返し言っている。3つの方程式で説明すると、テクノロジー（科学技術）変化は、ムーアの法則を当てはめると2045年にAIの知能が人間の知能・知性を上回るシンギュラリティに到達するといわれている。これまで人間が行ってきた仕事、役割がAIに置き換わってくる時代にくる。

デモグラフィックス（人口統計学的）面では、団塊ジュニア世代といわれた方が75歳以上の後期高齢者になる。日本の人口は、少子高齢化が一気に進行し人口は1億人を割り、生産人口は6000万人を割り、65歳以上の高齢者は団塊ジュニア世代が75歳を迎えるころから加速的に増えていき、人手不足が改善することはない。

地政学の面では、（第三次世界大戦が起きなければ）1945年の第二次世界終戦から100年とな

り、それまでに世界秩序が大きく変わる可能性がある。世界の警察と言われたアメリカを中心にG7の国がかつては世界のGDPの7割を占めていたが、2030年にはE7（Emerging7: 中国、ロシア、ブラジル、インド、インドネシア、メキシコ、トルコ）が凌駕する可能性があるといわれている。特に、中国はここ10年、20年でGDPはアメリカを抜き、凄い勢いで成長してきた。上海では自動運転車が走っていることが当たり前になってきている。自動運転、AI、5Gのネットワーク技術も日本を超えており、飛躍的に進化している。中国に近い西日本の経営者には、上海に行って中国で何が起きているのか体験することをお勧めする。

ブリッジウォータ（世界最大のヘッジファンド）の創業者 レイ・ダリオは、500年くらいの世界の動きを俯瞰して、歴史は繰り返さないが韻を踏む（まったく同じではないが、似たようなことが繰り返される）と言っている。彼の著書の中にある、帝国の興亡のサイクルでは、最初は若くて強いリーダーシップがあつて興隆期を経て絶頂期に達するが、限界をむかえその後衰退していくと言っている。世界秩序の変化を見れば、オランダは1400万人程度の小さな国であったが株式会社や証券市場

などを発明し 1600 年代は世界の富の 3 分の 1 を占める、世界経済のトップになった。次に産業革命の成功で大英帝国が世界の所得の 20%、陸地の 20% を支配し世界のトップになった。ヨーロッパで戦争が起きて衰退するなかで、無傷のアメリカが資本主義を加速させて世界総生産の 20% を占めるようになった。しかし米国一強の時代から、中国、ロシアが台頭してきている。世界秩序の転換が起きている可能性が高い。政治の世界では民主主義と非民主主義の対立、経済では経済成長の GDP 重視と脱経済成長の ESG や SDGs 重視の対立、統治機構は、国民国家政府と非政府組織、日本では団塊世代と Z 世代の世代間で、年金、医療費や国の負債の負担を巡って緊張感が高まる。

日本を帝国の興亡サイクルに当てはめると、明治維新の強いリーダーシップのもと富国強兵という明確な目標と第 2 次産業革命により、興隆期を経て絶頂期を向かえたが、軍部の台頭により戦争に突入し敗戦するまでの 77 年間。終戦から戦後復興という明確な目標の中で高度成長期を経てバブル経済の絶頂期を向かえたが、バブル崩壊で失われた 30 年といわれる衰退期に入った昨年までの 77 年間。失われた 30 年の日米を比較すると日本の経営者は企業・社会の安定と雇用を重視し利益は上がったが内部留保し、将来に向けた設備投資や人への投資（賃上げ、アメリカは 90% アップ、韓国は 2 倍）をしてこなかったことで、日本は世界の成長から置いていかれた。失われた 30 年で何を守り、何を失ったか検証が必要。政府は賃上げを求めているが、賃

金を上げるためには生産性を上げるか、もしくは、会社の競争と淘汰があって人材の流動性がないと賃金は上がらない。日本の一括採用、終身雇用という雇用制度は崩壊しつつある。今後の VUCA (変動が大きく不確実で複雑かつ不明瞭) な時代に組織と個人が生き延びるには、①未来を大きく俯瞰して予測する力をつけ、②機械知能 (AI) の本質を理解し最大限活用し生産性を上げつつ、③人間知性 (HI) から人間にしか生み出さない価値を創り出していくことが重要だと思っている。ChatGPT など生成 AI の登場で専門職と管理職が影響を大きく受け、AI とロボットの活用で 47% の仕事 (雇用) がなくなるといわれている。AI と共存するためには、AI を使いこなすプロンプトエンジニアリングも求められる。若手の部下に仕事を教え込むのと同じように生成 AI とも接していく。自らの問いを様々な側面から捉え直すことができるメタ認知能力、アナロジーからの類推能力、物事の構造や一定規則、意味を捉えるパターン認識力、違った文脈を解釈するセンス、回答の信憑性や有用性についての総合的な判断力等は、企業の管理職が本来日常的に行っていることである。生成 AI は、質問によっては時にとんでもない答えを出すことがあるが、問いの立て方次第で期待する答えが返ってくる。ぜひ使ってみてほしい。AI との共存といえば将棋の藤井聡太八冠は、将棋 AI を活用してこれまで人間では思いつかないパターンを認識して将棋を指し、デビューから 29 連勝、八冠を達成している。

AI と共存する働き方は、これ

までのような仕事を時間で区分するのではなく、仕事の内容で 4 つのバランス (Labor、Work、Play / Act、Re・Creation) をとることが重要だと考えている。Labor は食べるため (お金があればやらない) の働き方、Work は自己実現ができる働き方、Play / Act は仕事だけでなく趣味や人を助けるといった個人が能力とネットワークで価値を創造する生き方、Re・Creation は人生百年時代を生きるために自己に投資し自己の価値を高め、自己の可能性を拡大させる生き方。Labor や Work の仕事はかなりの部分が AI やロボットに置き換えられるので、人間は Play / Act、Re・Creation にシフトしていく必要がある。多くの生命体は遺伝子によってその行動が決まっているが、人間だけは自らの脳をアップグレードすることができる。(興味のある方は、『ブレイン・ワークアウト』という本に詳しく書いてあるので読んでください。)

最後に、AI やロボットが全部やってくれる時代に、イーロンマスクのように「我々は何なのか」と問いかけ、意識的に人間の価値を考え続けることが重要。真面目で問題解決においてミスのない人間から、問題そのものを発見できる革新的な人間が求められる。

経営者は、人材不足のなかで仕事の多くが AI やロボットに置き換わることを前提に働き方を考えないといけない。これからの経営者には、人間にしかできない、人としての魅了・人間力を備え、従業員の喜びを考えることが今後益々求められる。



11月例会（部会員発表）を開催

11月21日(火)城西館において11月例会を開催した。(参加者29名)

今回は、(株)泉井鐵工所 代表取締役社長 北村和之氏、和建設(株) 社長室長兼営業マネージャー 中岡竜太郎氏、ネッツトヨタ南国(株) 常務取締役 横田忠明氏 に自社の取り組みなどについて発表いただいた。

株式会社泉井鐵工所

代表取締役社長

北村 和之 氏



私は、静岡の日新興業という冷凍機のプラントメーカーで2年間働いていました。当社の仕事と関係があり、マグロ船などでマグロを-60度に凍結するプラントを作っている会社で、清水や焼津には船主さんが集まるということで2年間過ごしました。2001年に泉井鐵工所に入社し、経理課、スラリー事業部などを経て取締役製造部長に就任、2022年に代表取締役に就任いたしました。本社は室戸市にあり、5年前に香南市に新たな工場を新設しました。役員5名、社員は74名、東京事業所では4名働いています。大正12年に創業、昨年100周年を迎えることができました。

社訓は「進歩は、誠意・熱意・創意より生まれ、誠意・熱意・創意は、和より生まれる」です。人と人のつながりを大事にし、従業員と経営者が一体となってもものづくりをして品質を作る。その品質でお客様との信頼関係を築くということを経営理念としています。創業者の泉井安吉は明治35年に室戸市で生まれました。室戸はもともと捕鯨が盛んで、当時の捕鯨は古式捕鯨といって人が鯨に跨がって鉞でしとめる漁法でしたが、ノルウェー式銃殺捕鯨の大砲でしとめる漁法に変わっ

たことから室戸の捕鯨産業は衰退しました。代わりにマグロ漁が盛んになり、当時は室戸でもマグロがよく捕れて泉井安吉もマグロ船に乗船していました。ただ当時のマグロ船は木造船で横波に弱いのと、マグロの重さに負けて海に投げ出され命を失う船員も多く、延縄船は「後家縄船」ともいわれるほど危険な漁でした。本人も海に放り出され奇跡的に救出されてからは漁の仕事を辞めて関西の方で機械設計を学び、漁師が安全にマグロ漁ができる機械を作ろうと室戸に帰ってきました。その後マグロ延縄捲揚機のラインホーラーの実用化が成功して国内や台湾でも売れ出して漁師さんたちからは「イズイ無くしてマグロ揚がらず」と高い評価を受けました。

営業品目はマグロ延縄用各種漁撈機械、トロールウインチ他漁撈機械、船用甲板機械、陸上用各種ウインチなどです。主要な取引先は川崎重工業など90%が県外企業です。本社工場ではマグロ延縄装置の組立とウインチ部品の加工を行っています。香南工場ではウインチ製品の組立やドラムの加工を行っています。ウインチも各種あり、漁業で使う物や船舶のアンカーや浚渫作業などで使うものなども製造しています。マグロ延縄漁は長さ150kmの幹縄に、約3000本の枝縄に餌を仕掛けて釣る漁法で、とても人では無理なため、その機械なども作っています。

100周年を迎え、これからもものづくりを通じて水産業、そして地域の発展に寄与してまいります。

和建設株式会社

社長室長兼営業マネージャー

中岡竜太郎 氏



私はJT Bで10年ほど勤務し、一昨年和建設に入社いたしました。弊社の主力は分譲マンションで、高知・岡山を拠点に展開しています。弊社のマンションの特徴はリアルオーダーメイドで間取りも含めて自由に作っていただけるようになっていました。この「リアルオーダーメイドマンション」という仕組みに対して2022年にグッドデザイン賞を受賞しました。また戸建て住宅も手がけています。

現在の私の役職は社長室長という肩書きですが、旅行事業などもやっており、最近では宿泊事業も始めました。社長室長とは何かとよく聞かれます。私が入社した2年半前は、SDGsという言葉が社員の3分の1が知りませんでした。今後のビジネスを考えていく上で、変えていかないといけない部分があるよねということで提言いたしました。その中の一つがGX(グリーントランスフォーメーション)でグリーンの活用ということです。SDGsはボランティアではないので続けていくことは難しい。本物のSDGsを考えた時に自分たちのビジネスをすればするほど環境が良くなっていくなどの両立をさせるこ

と、SDGsの取り組みを続けることがサステナブルであるということに至りました。そういう中で、戸建て住宅というのはほとんど木造ですが、もしかしたらマンションなども鉄筋コンクリートとかではなく木造に変わっていくかもしれない。その中で自分たちがサステナブルにビジネスをしていくには高知県産木材を使つての森林資源をしっかりと守っていくことが必要だと考えました。仁淀川町とは「協働の森パートナーズ協定」を結んでいます。木は闇雲に切るのではなく間伐して高知県産の木材を積極的に利用していくことで自分たちのビジネスをしながら環境保全もできるということに舵を切りました。

またDXの取り組みとして建設用3Dプリンタでの建設に挑戦いたしました。3Dプリンタは土木分野では採用されはじめましたが、建築分野ではまだほとんど活用されていません。弊社が建てた芸西村の新しい宿泊施設「ナミテラス芸西」には3Dプリンタで印刷したサウナがあります。国内でも建物はまだ数は少なく貴重なものです。3Dプリンタを使うことによって省力化を図り、少なくなった型枠職人の代わりに技術を補っていきうということになっています。他にはデジタルデータをShopBotという機械を使って板材を切り出します。これのいいところは一般的に建築に適さないとされる小径木でも利用が可能で、森林資源を余すことなく利用できる点です。現在は仁淀川町の町営住宅に着手しております。

ネットヨタ南国株式会社

常務取締役

横田 忠明 氏



本日は弊社の採用と人材育成についてお話をさせていただきます。最近身近な経営者の方と話していると、多くの企業が、採用と人材育成に問題意識を持っているという話をよく聞きます。弊社は長年この2つの課題に取り組んでいます。

簡単に会社概要を説明します。会社設立は1980年(昭和55年)。現在社員数は141名で、うち女性は40名です。今日の高知新聞にも高知の女性は、仕事に対するこだわりが強いという記事がありましたが、弊社も女性の仕事の対する意識が高い職場です。女性営業スタッフは現在12名います。育休産休で3名が休んでおり育休から復帰して子育てしながら活躍している女性営業スタッフは7名になりました。

弊社には「全社員が人生の勝利者になる」という経営理念があり社内でも一番浸透しています。私の中でこの理念は様々な場面での判断基準として心に留めています。

事業所は3店舗あり、他にも野市にある「四国自動車博物館」、本社屋向かいにある「びすた保育園」などを運営しています。近年では採用部門が独立し、採用、研修・講演を行う「ビスタワークス研究所」があり、創業者の横田英毅はこちらで講演活動をメインにやっています。

さて、自動車業界は現在激変しております。昨今の様々な不正問題があり自動車業界自体が世間でいい印象を持たれていません。さらに車は買う物ではなく借りる物といったカーシェ

ア。月々の支払いのリースのような買い方で車に乗るサブスクリプションなども増えており、我々は将来を見据えた戦略的な経営が必要となっています。

人口減少や人手不足の影響も既に出てきています。整備士の平均年齢は上がってきて、整備士の資格取得者は減ってきています。新卒高卒者の県外就職率も高知県は四国でも一番高く、3割以上の高校生が県外に就職する現状があります。

弊社はこれをチャンスと捉え、伸びしろのある高知で働いてくれる高校生がまだまだいるのではないかとということで高校生を積極的に採用しています。

最近では、高校生の職場体験以外にも保育園児と小学生などを対象に「お仕事体験」をしています。ご近所付き合いなど地域との繋がりが弱くなり学校や家庭以外での大人との繋がりが少なくなっている今だからこそ、この子達が幼少期から高知で働く大人たちと関わりをもってほしい、ネットヨタ南国での体験が記憶の片隅に残ってほしいという意味もあって、様々な原体験を育む活動をしています。

社内での様々な活動のほとんどは社員が主体となって考えており、私達マネージャーは信頼して現場に任せることにしています。信頼して任せる事で結果的に主体性が発揮できる組織風土が醸成され、失敗を恐れずにのびのびとします。それが自己成長につながり、そのサイクルが回ることで仕事に対するやりがいや働き甲斐につながっていくと考えています。私自身も多くのことを学び社員と一緒に成長しています。これからのネットヨタ南国は車の販売以外にも様々なチャレンジができる人材が育っていければいいと思っています。少子高齢化の時代、やはり一番大切なのは“人”だと思います。皆さんからも刺激をいただきながら前進してまいります。

12月例会を開催

12月19日(火)、ラ・ヴィータにおいて12月例会を開催した。

今回は、特別会員の齊藤 章氏(齊藤章公認会計士事務所 所長)に昨年10月より施行されたインボイス制度について詳しく解説いただいた。

「経営者にとってのインボイス制度」

齊藤章公認会計士事務所 所長 公認会計士 齊藤 章 氏



消費税は、財貨を販売した際に受け取った消費税から、仕入れの際に支払った消費税を差し引いて納付する仕組みとなっており、基本的に事業主に損得は発生しない。

しかし、今年10月からのインボイス制度により、免税事業者からの仕入れについては仕入税額控除ができなくなり、その一部は持ち出しとなる。

ただし、3年間(2026年9月末まで)は仕入れ額の80%、その後3年間(2029年9月末まで)は50%の控除が経過措置として認められているが、事業主の負担が増えることになり変わらない。だからかといって、その仕入先との取引をやめる、または消費税分の減額要求をするといったことをすると、下請法や独占禁止法に違反する虞があることから留意が必要である。

商取引なので双方納得の上で価格設定することは問題ないが、相手が不当と思わないよう、税額控除の経過措置も考慮した交渉が必要。

現在、免税事業者が課税事業者になる場合は、3年間に限って2割特例が利用できるし、年間の売上が5000万円以下であれば手続きが簡単な簡易課税を選択することもできる。

取引先の免税事業者にこのようなアドバイスも行っておきたい。インボイスには、相手先名、インボイス登録番号、取引年月日、税率ごとの販売金額合計や消費税合計などを記載することになっている。要件を満たしていないインボイスは再発行が必要になる。インボイスを発行した場合は、写しを必ず保管しておくことも要件になっている。小売業、飲食業、タクシー業、駐車場業などは、相手先名を記載しなくてもより簡易インボイスの発行が認められているし、3万円未満の公共交通機関の運賃や自動販売機による販売など、インボイスの交付を免除される取引もある。複雑な仕組みとなっているため、来年消費税の申告を行う場合は、十分理解したうえで申告してほしい。

Report

01 11月例会／労管単独セミナーを開催

当協議会は11月10日、第一芙蓉法律事務所 弁護士 平越 格氏を講師に招き、『高齢者雇用安定法』について①高齢者雇用継続給付の縮小と定年後再雇用者の賃金待遇 ②65歳までの高齢者雇用確保措置 ③70歳までの高齢者就業確保措置の三つの観点に分け、判例を交えた形式で解説を聴講した。講演の内容をまとめると、令和7年4月以降は高齢者雇用継続給付率が現行の15%から10%に引き下げられ段階的に廃止される状況であることを考慮し、65歳以上の高齢者を雇用する



企業では現行の賃金体制や高齢者の処遇について同一労働同一賃金の原則を踏まえ見直す必要があり、加速する労働人口の不足を補うためにも、年齢問わず働きやすい環境の整備や人材確保をしやすい体制づくりが企業には求められている点を認識し、早急な対応が必要であるとの指摘を受けた。参加者は9名。



Report

02 第38回労管会員等親睦ゴルフコンペを開催

当協議会では標記ゴルフコンペを11月10日にパシフィックゴルフクラブで開催。参加者は弁護士の平越 格氏を含む11名。優勝は信清敏男氏（労管OB・元幹事長）、ベスグロは93で横山昌夫氏（陽和産業株式会社・顧問）。



Report

03 12月例会／労管単独セミナーを開催

当協議会は12月8日、株式会社ラダー経営ネットワーク 代表取締役 坂本力氏（当協議会会員）を講師に招き、『人的資本経営への原点回帰』をテーマとし、「最大スキル発揮の快適職場環境、



「経営理念・中期ビジョンの必要性」、「仕事に対する姿勢・行動指針」、「自制心を鍛える」等についてチェックシートを用い参加者企業の現状ならびに改善点について解説を聴講した。参加者は19名。



「明るい2024年を願って！」



宇治電化学工業株式会社
取締役社長

川村 進一氏

あけましておめでとうございます。今年も労務管理者協議会の運営にご協力をよろしく願っています。

長い期間、デフレ基調の経済からインフレ基調となってきており、官製主導ではありながら、大幅な賃上げの要請も強くなっており、今までにない決断なども必要な難しい一年になるかと思われま。今年も会員相互を含め、研究や情報交換を重ねて、各社最適な労務管理施策が展開できるように研鑽していきましょう。

さて、ここからは雑感。

私の野球好きはご存じかと思いますが、昨年の野球（特にプロ野球）においては、興奮の連続の一年でした。WBCの優勝、阪神タイガースの優勝、（小さくU18の馬淵ジャパンの優勝）、大谷選手の移籍etc. 気分を害される方もいるかとは思いますが、特に阪神タイガースの優勝は喜ばしい限り。これほどまでにストーブリーグを心穏やかに過ごせるのは、いつ以来だろうか。ただ、無念なのは、いろいろと画策したにもかかわらず、万策尽きて、甲子園球場に馳せ参じる機会をつくれなかったこと。あの歓喜（狂気）の場に身を置けなかったことが悔やまれる。ちょうど、クライマックスシリーズ時期、大阪出張と重なっており、夜は予定を入れずに方々をお願いしたのですが、どこからも吉報は訪れず、結局はお客様と共にライブ配信しているバーで雰囲気を楽しむだけとなった（当然飲みすぎたのだが…）。ファ

ンならわかると思うが、耐え忍ぶ年月が長かった分、次いつ訪れるかを考えながら、パイナメで慰めるしかなかったのが悲しい。

岡田監督には足を向けて寝られない。大きな補強がない中での優勝。いろいろと新聞など報道で多く語られているからいちいち触れることはしないが（ファンならいちいち確認しつつニヤニヤが止まらない）、一つだけ言うとするならば、昭和の野球が帰ってきた感がある勝利はなんだか格別。“フライボール革命”（簡単にいうと、アッパースイングでホームラン狙ったほうがいいよ）が主流の平成・令和の時代に、本塁打はノイジーの偶然の2発だけで日本シリーズを勝ったのは痛快としかいえない。今年の中継を見ている“ここでそのまま打たすのだろうか”、“ここで盗塁か!”、“ここでスクイズ!!”、と見ていて飽きさせないし、劣勢の展開でも楽しませてもらった。昭和の野球の醍醐味を存分に味わせてもらった。

ひと昔前なら、地上波で中継がなければ諦めていたが、今はネットの時代。今年の夏以降、夜な夜な、なんとか阪神戦のライブ中継を見たくてネットサーフィンし、今では虎テレ（阪神のネットTV）は契約続行中。

スポーツニュースなどでは、阪神の黄金時代到来、などと浮かれている。38年間の中には暗黒時代もあり、大差で勝っている場面でも“いつひっくり返されるのか”とひっくり返されないことをお祈りしながらネガティブにナイターを見ていたファンとしては、アレンパと浮かれることはできない。

八番の木浪が出塁して、九番が送りバントで、一番二番の近本・中野が返す。四番大山が四球でチャンス拡大と思い出すだけで心躍る2023年。今年も美味しいお酒が飲めますように。



一体的実施事業 就職面接・相談会

(ワークライフバランスがんばってる！企業 就職フェア) を開催

令和5年12月14日に就職面接・相談会(ワークライフバランスがんばってる！企業 就職フェア)を、高知市の高知会館で開催した。

就職フェアの会場では16社の企業の採用担当者がブースを構え、面接・相談会に臨んだ。また求職者のほうは、12時30分の受付開始から続々と集まり始め、13時のオリエンテーション開始時には待合席の増設が必要な状態になるほどであった。

就職フェアは13時から15時30分の予定で開催したが、面接・面談数は延べで91件となり、面接数の多い企業では14名の求職者との面接、面談をこなすなど、人気の企業では長い待ち時間が発生するという状況もあったが、始終熱心な面接、面談が行われ、盛況な就職フェアとなった。

当日の参加求職者は70名、参加者の年代は、20歳代37%、30歳代24%、40歳代21%、また、ワークライフバランスへの関心については、アンケート回答者の70%が「ある」の回答、「普通」も含めると95%以上が意識を持っているという結果であった。



第1回高知県高年齢者雇用促進セミナー



影山講師

当協会では、高知県から受託している「高知県高年齢者雇用促進セミナー」として、12月11日に高知会館において、講師にNPO法人キャ

リア・ライフ高知代表理事 影山淳子氏をお招きし、「職場のパワーハラスメント防止への取り組み」についてセミナーを開催した。

事業主には「職場におけるパワーハラスメント(パワハラ)防止措置が法的に義務付けられている。「パワーハラスメント」による職場への損失は甚大で、業務への支障が生じたり人材の損失にもなり、また企業の職場環境配慮義務違反等にもつながる。誰もが働きやすいより良い職場環境づくりに活かして

いけるようパワーハラスメントの基本について学んだ。

セミナーではパワーハラスメントを正しく理解し、どのような行為が該当するのか、問題を生じさせないためにはどうすれば良いのか、ロールプレイ、ワークを交えながら解説していただいた。

その後、高知労働局、産業雇用安定センター、高齢障害求職者雇用支援機構の各担当者より、高年齢者雇用に関する支援制度の説明があった。



謹賀新年 2024

新年明けましておめでとうございます



会 長 森 下 勝 彦
副 会 長 久 松 朋 水
副 会 長 山 元 文 明
副 会 長 川 崎 敦 子
副 会 長 中 澤 陽 一

副 会 長 弥 勒 美 彦
副 会 長 西 山 正 晃
副 会 長 十 河 睦 友
専務理事 沖 田 良 二

食を豊かに、もっと楽しく



代表取締役社長 竹内孝久
〒783-8555 高知県南国市領石 246



井上石灰工業株式会社

代表取締役社長 井上 孝志

〒783-0060 南国市蛸が丘2-3-5



社会保険
労務士法人 **あすえる**

代表社員 高橋 卓 弥

〒780-0985 高知市南久万193番地14
tel. 088-803-8077 fax. 088-803-8078

入交グループ本社株式会社

代表取締役社長 入交 太郎

高知市仁井田4563番地1

ALways Security OK



ALSOK 高知株式会社

代表取締役社長 星 宏 明

〒780-0870 高知市本町4-2-40 ニッセイ高知ビル2階

宇治電化学工業株式会社

代表取締役会長 西山 彰一

高知市棧橋通5丁目7番34号

株式会社 泉井鐵工所

代表取締役 北村 和之

〒781-7103 高知県室戸市浮津18番地

産業機械製造 / 5工場 250名で新時代へ!



代表取締役社長 中山 博之

本社 / 〒783-0023 南国市廿枝 1307
TEL (088) 864-1116 FAX (088) 864-1119

春野あしんたまご <http://eggmere.co.jp/>
エッグメール 検索



工場見学はこちら!

株式会社エッグメール
代表取締役社長 西本 樹生

高知県高知市春野町
弘岡中1034番地15
〒781-0302
TEL:088-850-3001
FAX:088-850-3050

株式会社 かね岩海苔

代表取締役 岩崎 充

高知市池字遅越 282-53

Ace One 株式会社エースワン  ホームページ

代表取締役社長 中山 太陽

〒781-0014 高知県高知市薊野南町28-12 Tel.088-803-1227(代)

K&B 兼松エンジニアリング株式会社
KANEMATSU ENGINEERING CO.,LTD.

代表取締役社長 山本 琴一

高知市布師田3981番地7

SKK 株式会社 SKK

代表取締役 島内 宏

高知市横浜西町1番3号

Kano 和建设 株式会社

代表取締役 中澤 陽一

高知市北本町4丁目3番25号

オシャンリス株式会社

代表取締役 久保田雅人

〒781-0806 高知市知寄町1丁目4番30号 YKSちよりビル

岸之上工務店

おかげさまで70周年を迎えます

高知市西秦泉寺 435-1 TEL822-2222 

オフィスソリューションで広がる未来へ。

 OKAMURA
株式会社 岡村文具

代表取締役 岡村 憲男

〒780-0841 高知市帯屋町2丁目2-22
TEL 088-873-2266 FAX 088-873-2268
ワークプレイスデザイン事業部 TEL 088-822-0364
URL <https://www.okamura-bungu.com>

黒潮観光開発株式会社

代表取締役 川添 和尊

高知県安芸郡芸西村西分甲5207番池

Osaki 株式会社オサキ

代表取締役社長 尾崎 典之

〒780-8040 高知市神田647-1

URL <http://www.kkosaki.co.jp>

株式会社ケミプリジア高知
(旧 ケミサプライ高知)

代表取締役 小原 啓嗣

高知市十津4丁目24-20

謹賀新年 2024



高知銀行

取締役頭取 海治 勝彦
高知市堺町2番24号

システム開発・ネットワーク・情報セキュリティのスペシャリスト



株式会社 **高知システムズ**

代表取締役社長 彼末 安史
高知市本町4-1-24 高知電気ビル新館3F



代表取締役 川崎 真一

〒781-8537 高知市若松町10番12号

私達の理念『交通安全社会への貢献』
鏡川・高知自動車学校
株式会社 **高知自動車協会**

代表取締役 小松 透
〒780-0945 高知市本宮町223
TEL088-844-3188 FAX088-840-0303

医療法人健会 **高知検診クリニック**

所長 井上 修志

〒781-0806 高知市知寄町2丁目4番36号



医療法人厚愛会

高知城東病院
高知城東病院介護医療院

理事長 中澤 佐紀子
院長 大澤 梨佐

〒781-5103 高知県高知市大津乙719番地
TEL:088-866-2326 FAX:088-866-5365



一般社団法人
高知県建設業協会
Kochi Construction Industry Association

会長 國藤 浩史

高知県高知市本町四丁目2番15号

株式会社 **高知新聞社**

代表取締役社長 中平 雅彦

高知市本町4丁目1番24号

皆さまの健康づくりを応援します
公益財団法人 **高知県総合保健協会**



総合健診機関

理事長 岡林 弘毅

高知市棧橋通6丁目7番43号
Tel(088)831-4800(代)
<https://www.hokyo.or.jp>

株式会社 **高知新聞総合印刷**

代表取締役 堅田 正剛

高知市葛島一丁目10番70号



高知新聞グループ・総合広告会社
株式会社 **高知広告センター**

代表取締役社長 大原 正典

〒780-0870 高知市本町3丁目3番39号 高知放送南館7階
TEL 088-856-6280



高知信用金庫

理事長 山崎久留美

〒780-0822 高知市はりまや町2丁目4番4号



高知スタンダード石油株式会社

代表取締役 手嶋 邦彦

〒780-8072 高知市曙町一丁目 2 番25号

高知日産プリンス販売株式会社

代表取締役社長 白井 裕喜

〒780-0935 高知県高知市旭町 2 丁目 21 番地



医療法人 尚賢会

高知高須病院

KOCHI TAKASU HOSPITAL

理事長 池邊 弥夏

高知市大津乙 2705-1 TEL 088-878-3377

高知日野自動車株式会社

代表取締役 濱田 英男

高知市大津甲274-1

株式会社 高知中央自動車学校

中央フォークリフト講習センター（併設）

代表取締役社長 岡 今朝男

高知市江陽町4番50号

☎ 0120-839-418

Yakult

高知ヤクルト販売株式会社

代表取締役社長 嶋田 陽一

高知県南国市明見928番地 TEL 088-863-8960



株式会社 高知電子計算センター

代表取締役社長 三谷 康久

〒780-0870 高知県高知市本町 4-1-16

塗装技術のパイオニア 高知ロック株式会社



最先端の技術で、環境・安全に配慮し
暮らしと調和のとれた製品の提供をしています。

本 社 高知市南金田 4-19

TEL 088-883-4169

卸団地営業所 TEL 088-884-5069

西南 営業所 TEL 0880-66-1178

KOCHI ROCK

高知トヨタ自動車株式会社

代表取締役社長 利岡 俊祐

高知市北御座 3 番 39 号

株式会社 光洋機工商会

代表取締役 磯崎 正樹

〒781-5103 高知市大津乙1866

高知トヨペット株式会社

代表取締役社長 西山 正晃

高知市北久保2-26



総合建設業

株式会社 晃立

代表取締役社長 嶋崎 勝昭

本社／高知市桜馬場8-20 電話 088-824-1121(代) FAX 824-1189

謹賀新年 2024

齊藤章公認会計士事務所

所長 齊藤 章

高知市昭和町17番6号

株式会社 四銀地域経済研究所

代表取締役 西本 治史

高知市菜園場町1-21 四国総合ビル3階



株式会社 **サンシャインチェーン本部**

代表取締役社長 栗名 俊二

高知市稲荷町11番地45号
TEL 088-882-4711



四国医療サービス株式会社

代表取締役社長 吉永 英人

高知市南竹島町35番地

参田 敦 法律事務所

所長 弁護士 参田 敦

〒780-0850 高知市丸ノ内2丁目8-20 丸ノ内サンビル2階
Tel (088) 825-4489 / e-mail san321@orange.ocn.ne.jp



四国運輸株式会社

代表取締役社長 松本 俊一

高知県高知市布師田字金山3936-1

石と共に四代、まだまだ創業140余年



(有)三代目 **竹内石材**

代表取締役 竹内 盛起

高知県長岡郡大豊町津家 1612

株式会社 四国環境管理センター

代表取締役 中村 博孝

高知市追手筋2丁目7番8号

企業間の出向・移籍の支援(無料職業紹介事業)



公益財団法人 **産業雇用安定センター**
高知事務所

〒780-0822 高知市はりまや町1丁目5-1 デンテツ・ターミナルビル5F
TEL (088) 861-3011 / FAX (088) 861-3013
URL <https://www.sangyokoyo.or.jp/>

SK 四国管財株式会社

代表取締役社長 森下 幸雄

高知市南はりまや町2丁目4番15号



サンジュザ

代表取締役社長 水田 芳彦

高知県土佐市高岡町乙 27-1



四国銀行

取締役頭取 小林 達司

高知市南はりまや町一丁目1番1号

四国鋳発株式会社

代表取締役社長 入交 章二

南国市白木谷916番地



(財)日本医療機能評価機構認定病院
医療法人 仁栄会

島津病院

理事長 島津 裕和
院長 西村 誠明

高知県高知市比島町4丁目6番22号

TEL088-823-2285 fax088-824-2363

<http://www.shimazuhp.jp/>

人工透析

四国葬祭株式会社

代表取締役 曾我 知子

高知市与力町3番24号

TEL088-824-4602



季節の心、伝えたい。

城西館

代表取締役社長 藤本 正孝

〒780-0901 高知県高知市上町2丁目5-34 Mail/info@jyoseikan.co.jp

TEL_088-875-0111 FAX_088-824-0557

城西館

検索



株式会社 四国ポンプセンター

代表取締役 西村 修一

高知市農人町2-5

TEL088-882-9031



総合建設業

須工ときわ株式会社



代表取締役 國藤 浩史

〒781-8008 高知市潮新町2丁目12番32号

TEL (088) 837-8800 FAX (088) 837-8808

JA 高知中央会

代表理事長 久岡 隆

〒781-9511 高知県高知市北御座2番27号 JA高知ビル6階

住友生命保険相互会社

高知支社長 宇佐見 俊夫

高知市本町4丁目2の52

株式会社JTB 高知支店

支店長 天野 三恵子

〒780-0834 高知県高知市堺町1-21 JTBビル3F

TEL 088-823-2331

信頼される安心を、社会へ。

SECOM

セコム高知株式会社

代表取締役社長 植村 博史

高知県高知市北本町4丁目2番12号

おいしきは大地から



シブヤグループ

澁谷食品株式会社
有限会社ヤゴローフズ
茅舗 茅屋金太郎

株式会社 ソフテック Softec

代表取締役社長 加藤 稔

〒783-0060 高知県南国市蛸が丘1-4

TEL088-880-8877 FAX088-880-8866

<http://www.softec-inc.co.jp/>

謹賀新年 2024

 **損保ジャパン**
SOMPO Innovation for Wellbeing
損害保険ジャパン株式会社
高知支店長 秋田 洋康
〒780-0870 高知市本町 2-1-6

TAMAI
Group

株式会社 玉井
代表取締役 宮地 真人
本社 〒781-0806 高知市知寄町 2 丁目 2 番 7 号

 裏方のプライド。
大旺新洋株式会社
代表取締役社長 小西 啓太
〒781-0112 高知市仁井田1625番地2
TEL 088-847-2112 FAX 088-847-6576
URL : <http://www.daioh.co.jp/>

 変わらないを あたらしく
株式会社 地域商社こうち
代表取締役 山本 一也
高知県高知市堺町2番24号

 **大熊水産株式会社**
代表取締役 泉 雅之
〒781-0811 高知市弘化台 12-12
TEL (088) 882-5111 FAX (088) 883-2014

ツカサ重機株式会社
代表取締役 山崎 祐輔
高知市長浜5033番地21

 **株式会社 ダイセイ**
DAISEI
代表取締役 野村 匠
〒781-0082 高知市南川添9番5号
Tel 088-884-3811 Fax 088-885-3747

手結山開発観光株式会社
土佐カントリークラブ
代表取締役 崎山 正
高知県香南市夜須町手結山668番地

 **大東冷蔵株式会社**
代表取締役 宮田 尚
〒781-0811 高知市弘化台1番15号
TEL (088) 883-7912 FAX (088) 883-1529

KUTV テレビ高知
代表取締役社長 藤田 徹也
〒780-8577 高知市北本町 3 丁目 4-27

 **株式会社 太陽**
代表取締役社長 久松 朋水
〒781-5101 高知市布師田3950番地
TEL 088-846-1230(代) FAX 088-846-2704

素材に命を吹き込む
 **東洋電化工業株式会社**
TOYO DENKA KOGYO CO.,LTD.
代表取締役社長 入交 建太
高知市萩町二丁目2番25号

土佐酸素株式会社

代表取締役社長 野村 卓弘

高知市稲荷町2番15号



南海化学株式会社

工場長 山口 悦司

高知市棧橋通4丁目10番1号



代表取締役 樋口 毅彦

高知市棧橋通4丁目12番7号

株式会社 西山 合名

代表取締役社長 西山 彰一

高知市駅前町4番15号

株式会社 土佐電子

代表取締役 辻 韶得

高知県土佐市高岡町乙61-10



代表取締役社長 山崎 真人

〒780-0870 高知市本町4丁目2番52号

株式会社 トサトヨ

代表取締役 野川 典史

〒781-8135 高知市一宮南町1丁目11番50号

いつもミライにワクワクしてる ネッツトヨタ南国

【高知本店】高知市南川添 4-28



株式会社 轟 組

代表取締役社長 吉村 文次

本社 〒781-8006 高知市萩町1丁目5番13号
TEL 088-834-1011 FAX 088-834-1021

幡多信用金庫

理事長 渡邊 毅

高知県四万十市中村京町1丁目17番地

トヨタカー-ヲ高知

代表取締役 西山正純

〒781-8135 高知市一宮南町1丁目9-10



家庭紙の総合メーカー
ハヤシ商事株式会社

代表取締役 坂本 英輔

〒781-1102 高知県土佐市高岡町乙 3192-4

謹賀新年 2024

三菱電機機器代理店・冷熱システム代理店・昇降機特約店・電気設備設計施工

 不二電気工業株式会社

代表取締役 川崎 敦子

〒780-0870 高知市本町五丁目4番21号
TEL (088)822-9351(代表) FAX (088) 822-9360
E-mail fuji-mail-master@fuji-dk.co.jp

ミタニ建設工業株式会社

代表取締役会長 三谷勝水
代表取締役社長 三谷剛平

本社 / 高知市針木東町 27-28



医療法人 おくら会

藤戸病院 芸西病院

理事長 藤戸 良輔

Mitutoyo 精密測定で社会に貢献する

株式会社ミットヨ 高知工場

高知県香南市香我美町徳王子120番地1
TEL 0887-52-8181 FAX 0887-52-9451

FUTAGAMI

取締役社長 野中正彦

高知県南国市双葉台1



株式会社ミロク

取締役社長 弥勒 美彦

高知県南国市篠原537番地1

防災用品製造卸

株式会社 フロムハート

防災アドバイザー
代表取締役社長 宮川 隆彦

高知市鴨部1355-25

森 社会保険労務士事務所

所長 森 由枝

〒780-0064 高知市和泉町12-15
Tel 088-823-0248 Fax 088-823-0284



株式会社 益岡工務店

代表取締役 益岡 博史

高知市葛島2丁目7番9号

モリミツ石油株式会社

取締役社長 岡林 晋平

高知市春野町内ノ谷 795-6

丸三産業株式会社

代表取締役社長 菊池 元宏

愛媛県大洲市徳森1349番地



ヤマト運輸株式会社

高知主管支店

主管支店長 松崎 繁

〒783-0051 高知県南国市岡豊町笠ノ川字山本377-1

株式会社 有 恒 社

代表取締役 松田 裕邦

高知市堺町2番26号 高知中央ビジネススクエア3階

 学校法人 龍馬学園

理事長 佐竹新市

〒780-0056 高知市北本町 1-12-6
TEL 088-825-0900 FAX 088-875-0040

陽和産業株式会社

代表取締役 小笠原 光豊

高知市南御座2番1号

株式会社レボテック・クリーン

 代表取締役 上田 晃大

高知市春野町西分1794-2



四電互 高知支店

YONDENKO
上席執行役員 支店長 森岡 孝容

高知市棧橋通2丁目2番25号



スーパープライスが見えるのは、
ワークウェイだけ!

 四電ビジネス株式会社

高知支店長 伊丹 二郎

〒780-0870 高知市本町 4 丁目 1 番16号

Wakamatsu

若松クレーン株式会社

550t~油圧クレーン・56m~9m各種高所作業車・橋梁点検車BT400・MBH140V/S
SF77A・BT200橋梁工事・敷鉄板・トラック・ユニック・トレーラー・検査用ウエイト・カニクレーン
橋梁運搬架設工事/PC橋/鋼橋 200t/120tクローラクレーン

本社 〒781-5101
高知市布師田578-10
電話 (088)-866-3108
FAX (088)-866-3088
<http://www.wakamatsu-c.com>
E-mail: soumu@wakamatsu-c.com



株式会社 ラダー経営ネットワーク

代表取締役
経営コンサルタント・産業カウンセラー

坂本 力

高知本社 高知県南国市西山475-1
全国ネットワーク 東京・千葉・静岡・京都・徳島・福岡・熊本・大分



株式会社 リーブル

代表取締役 坂本圭一朗

高知市神田2126-1



会議・セミナー等	
10月16日	第2回常任理事会
11月20日	第9回 acqua クラブ
28日	会員懇話会・理事会・懇親会
青年経営者部会	
10月 1日	高知青年会議所創立 70 周年記念式典・大懇親会
12・13日	全国大会 in 埼玉
30日	全国大会実行委員会
11月21日	11 月例会
30日	全国大会懇親会委員会
労務管理者協議会	
10月20・21日	10 月特別例会（企業視察）
11月14日	11 月例会
11日	第 38 回会員等親睦ゴルフコンペ
こうち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム活用支援事業	
10月24日	就職相談会
31日	女性活躍推進セミナー
会議等出席	
10月 1日	赤い羽根共同募金開始式
2日	特定最低賃金審議会小委員会
3日	第 57 回高知県安全衛生大会
	高知商工会議所議員大会
5日	労働委員会
13日	特定最低賃金審議会
14日	個別労働紛争解決応用研修
16日	こうち男女共同参画会議意見交換会
18日	高知県健康づくり推進協議会専門部会
19日	地方団体連絡協議会
	労働委員会
27日	こうち男女共同参画社会づくり財団理事会
30日	労働審判員研究会
11月 2日	高知県殉職警察職員慰霊祭
6日	高知県地域両立支援推進チーム連絡会議
9日	全労委使用者委員応用研修
14日	高知県暴力追放県民会議理事会
	高知県総合保健協会理事会
16日	労働委員会
	高知県健康づくり推進協議会
20日	労働委員会
	高知県産業保健総合支援センター運営協議会
21日	四国ブロック経営者協会専務理事会
22日	高知地方労働審議会

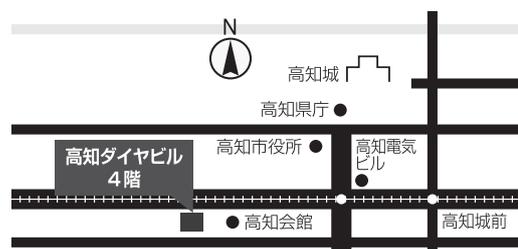
事務所移転のお知らせ

このたび当協会は下記住所へ移転することとなりました。長年入居していた高知電気ビルから引っ越しすることとなり、寂しい思いもありますが、職員一同新たな気持ち頑張っております。お近くへお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

今後とも何卒よろしくお願いたします。

【業務開始日】 令和6年1月22日(月)より

新住所 〒780-0870
 高知市本町 5 丁目 6-39 高知ダイヤビル 4 階
 TEL 088-872-5181 (変更なし)
 FAX 088-823-6444 (変更なし)



R 6新社会人の集い

新入社員合同研修会

- 開催日 令和6年3月27日(水) 9:00~17:00
- 会場 高知城ホール (高知市丸の内2丁目1番10号/TEL 088-822-2035)
- 募集人員 100名(先着順) ★最低参加人員50名以下は中止
- 参加費 1名(経協会員 7,000円 その他 12,000円)
- 対象 県内の企業・団体・事業所などに今春、新たに就職または就職予定の方

8:20~受付開始 17:00 終了

時間	テーマ・講師
9:00	オリエンテーション
9:05	開会挨拶 高知県経営者協会 会長 森下 勝彦
9:15 } 12:00	実践!「仕事の基本とビジネスマナー」 ~好感もてる社会人をめざして~ 土佐流おもてなし塾 代表 金山 久里子 氏
12:00 } 13:00	昼食・休憩
13:00 } 14:00	「知っておくべき法律・社会保険の基本」 五藤社会保険労務士事務所 代表 五藤 大策 氏
10分間	休憩
14:10 } 16:50	「新社会人の心構え」 (株)ラダー経営ネットワーク 代表取締役 坂本 力 氏
16:55	お知らせ
17:00	終講

【お知らせとお願い】

新型コロナは5類に移行されましたが、未だ収束にいたっておりませんので、受講中はマスクの着用をお願いします。

また、当日体調不良の方(熱のある方・咳の出る方)は受講をご遠慮ください。

★申込み・お問い合わせ先★

高知県経営者協会

〒780-0870
高知市本町5丁目6-39 高知ダイヤビル4階

【担当:山岡・永野】

電話: 088-872-5181

FAX: 088-823-6444



Seminar

フォローアップ研修 若手社員のビジネスマナー再チェック

- 日 時/2024年2月13日(火) 9:30~17:00
- 場 所/高知県立地域職業訓練センター
- 講 師/キャリアコンサルタント 谷脇 敦美
- 定 員/30名(最小開催人数8名) ■締切日 1/31
- 参加費/経協会員10,000円 会員外16,000円

